

2. 中央競技団体の役職員に関する調査

本調査では 2018 年度調査に引き続き、中央競技団体の運営に携わる役職員についての調査を行った。回答のあった団体は 90 団体中 78 団体である。

2-1 役職員および評議員

1) 全体

団体の役職員および評議員について、「理事（常勤）」「理事（非常勤）」「監事」「評議員」「正規雇用者」「契約／嘱託職員」「出向」「派遣職員」「アルバイト」「インターン」および「その他」の分類で性別に人数をたずねた。78 団体の役職員および評議員の合計は 4,126 人であり、このうち「理事（常勤）」「理事（非常勤）」「監事」（3 役職を合わせて以下、役員とする）が 1,615 人、「評議員」が 1,394 人、役員および評議員を除いた職員等は 1,117 人であった（表 4）。

表 4 中央競技団体の雇用形態別人数（n=78）

(人)

種別	男性	女性	計
理事（常勤）	119	21	140
理事（非常勤）	1,100	210	1,310
監事	145	20	165
評議員	1,252	142	1,394
正規雇用者	395	269	664
契約／嘱託職員	107	79	186
出向	70	21	91
派遣職員	7	37	44
アルバイト	28	44	72
インターン	13	1	14
副業・兼業	30	7	37
その他	7	2	9
合計	3,273	853	4,126

役員的人数を全体（4,126 人）に対する割合で見ると、理事（常勤）が 3.5%、理事（非常勤）が 31.7%、監事が 4.0%と、理事（非常勤）の割合が飛び抜けて高く、多くの理事（非常勤）が存在していることがわかる。性別にみると、男性役員合計が 1,364 人であるのに対して女性役員は 251 人と、役員全体の 84.5%が男性で占められている。また、78 団体のうち 9 団体（11.5%）では女性役員が存在せず、39 団体

（57.1%）では女性役員が 2 人以下であった。なお、分析対象としている団体が異なるため単純な比較は難しいが、女性役員が存在しない団体の割合は 2010 年度 44.3%、

2012年度 31.0%、2014年度 19.1%、2016年度 17.7%、2018年度 11.1%と減少傾向にある。

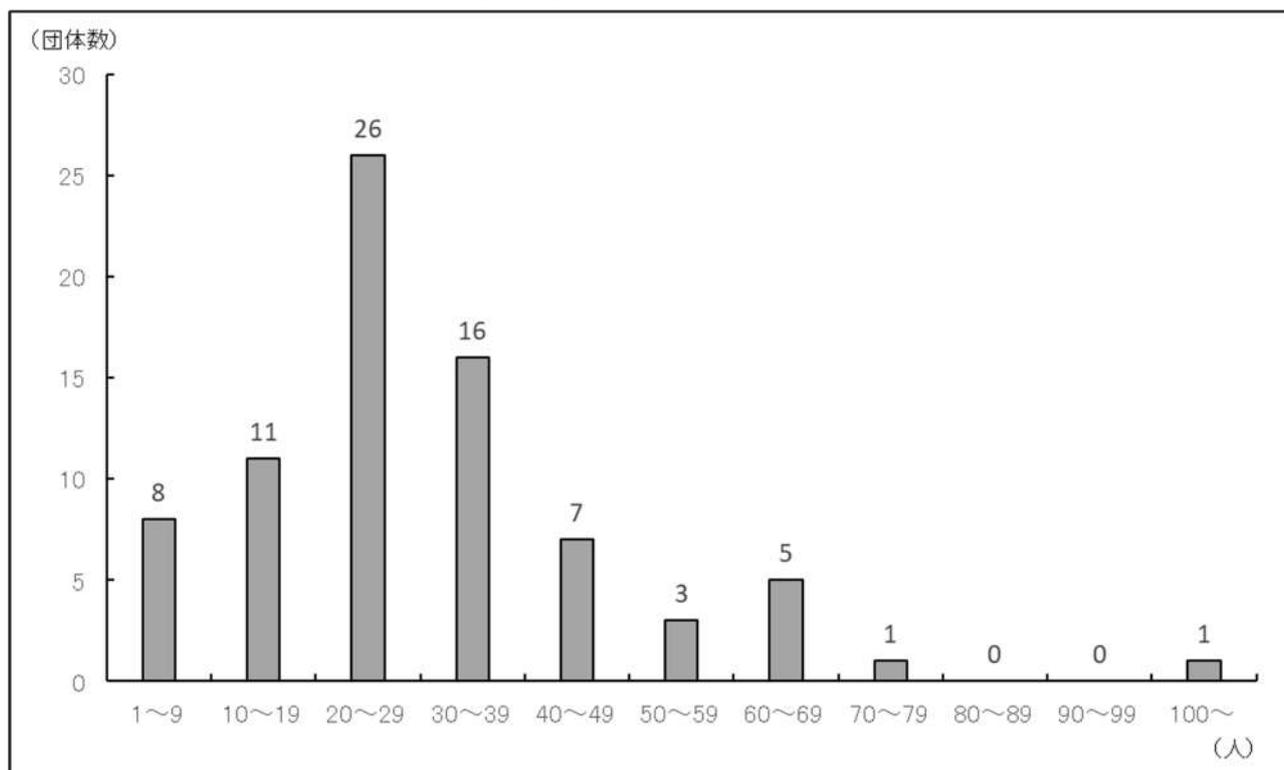
評議員の数は、78団体のうち評議員を置く41団体（公益財団法人および一般財団法人）において、1団体あたりの平均は34.0人であり、最小は7人、最大は75人であった。性別にみると、男性が89.8%、女性が10.2%であり、女性評議員の割合は役員と同様に低かった。

役員・評議員を除いた職員等の数は78団体で1,117人であり、1団体あたりの平均は14.3人である。前述の役員と同様に、回答団体が異なるため単純な比較は難しいが、2018年度調査の職員等902人から総数で215人の増加がみられた。人数の分布は0人から221人までその規模はさまざまである。職員等が存在しない団体（5団体）では、役員が職員の役割を兼務しているものと推察される。性別にみると、男性が657人（58.8%）、女性が460人（41.2%）であり、役員・評議員と比較すると女性の割合が高かった。

2) 役職員の数の分布

役員、正規雇用者および契約／嘱託職員（以下、役職員）の合計は 2,465 人であり、人数の分布を図 3 に示した。1 団体の平均は 31.6 人であり、役職員が 10 人未満の団体から 100 人を超える団体まで幅広く分布していた。中央値は 26.5 人、最も多いのは 20 人以上 29 人以下の 26 団体であり、全体の 33.3% を占めた。

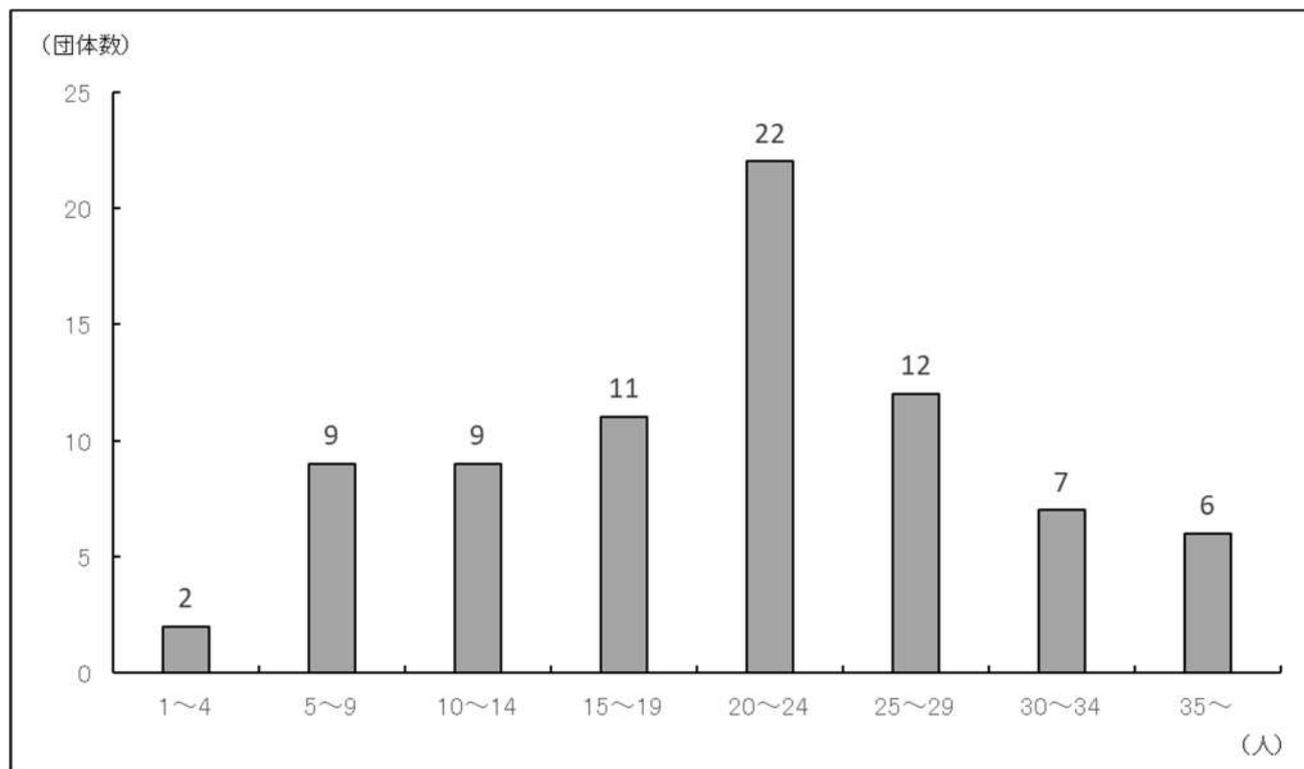
図 3 中央競技団体の役職員の数の分布 (n=78)



3) 役員数の分布

役員の人数の分布を図4に示した。1団体の平均は20.7人であった。役員数2人の団体から40人を超える団体まで分布していた。中央値は21人、最も多いのは20人以上24人以下の22団体であり、全体の28.2%を占めた。

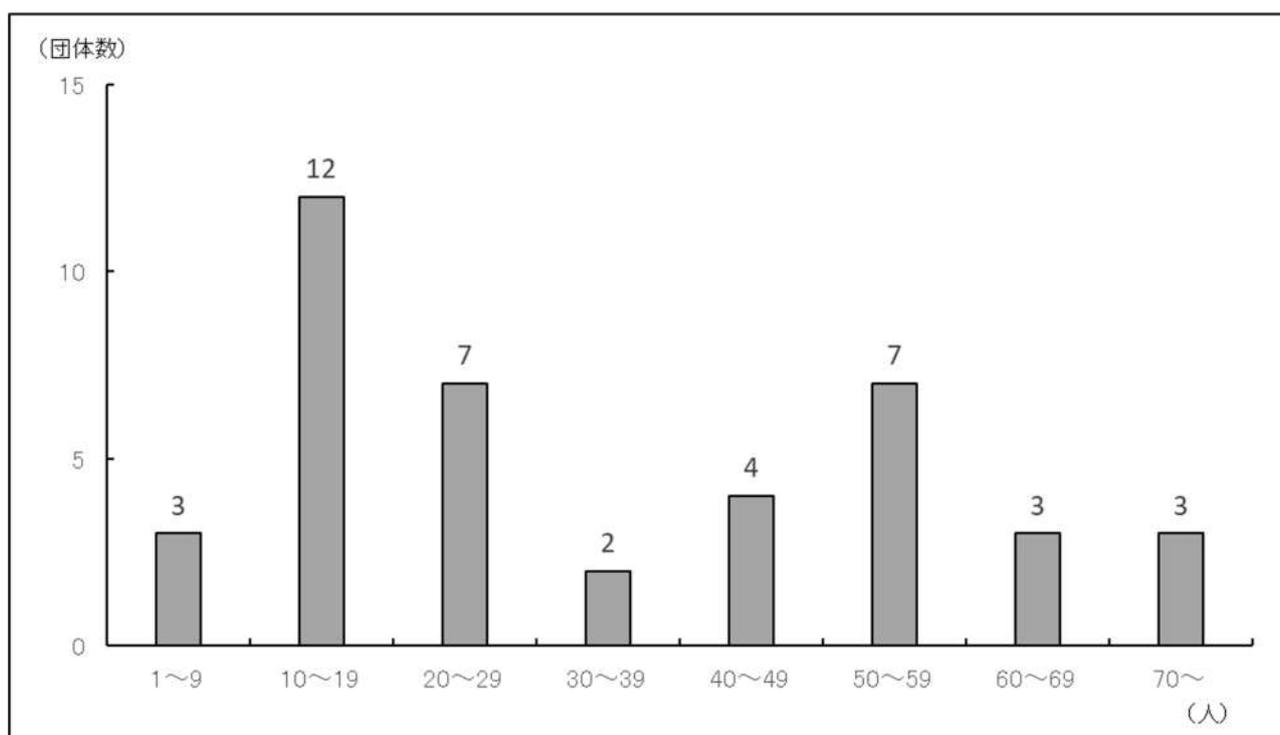
図4 中央競技団体の役員数の分布 (n=78)



4) 評議員数の分布

法令上、評議員会が必置とされる公益財団法人および一般財団法人で、評議員が1人以上存在する41団体における評議員の人数の分布を図5に示した。1団体の平均は34人であった。評議員数9人以下の団体は3団体で、70人を超える団体は3団体あった。中央値は25人、最も多いのは10人以上19人以下の12団体であり、全体の29.3%を占めた。

図5 中央競技団体の評議員の数の分布 (n=41)



5) 正規雇用者数の分布

正規雇用者数の分布を図6に示した。1団体あたりの平均は8.5人であり、正規雇用者が飛び抜けて多い団体(165人)を除いた平均は6.5人であった。分布は0人から160人以上までと幅広く、中央値は4人、最も多いのは1~4人の23団体であり、全体の29.5%を占めた。また、正規雇用者が0人と回答した団体は21であり、全体の26.9%であった。なお、2018年度調査では、63団体中10団体(15.9%)が正規雇用者0人と回答していた。

図6 中央競技団体の正規雇用者数の分布 (n=78)

